



木村さん(左から二目)に教わりながら、フェンシングを体験する生徒

た先で知人に言われた「ダイヤモンドメダリスト」という言葉を紹介した。木村さんは「今苦しんでいても、いつか必ずあなたを理解してくれる人が現れる。可能性を諦めず、自分を信じ切って競技を続ければ、あなたもダイヤモンドメダリストだ」と語った。

授業の後半では生徒たちが簡易的な機具を用いてフェンシングに挑戦。「エペ」と呼ばれるルールで対戦したほか、木村さんの剣を受け歓声や悲鳴を上げた。

元フェンシング日本代表木村さん 光星高生に特別授業

7月に引退を表明したフェンシング日本代表・木村毬乃(みきの)さんを講師に招いての特別授業がこのほど、八戸市の八戸学院光星高校で行われた。普通科スポーツ科学コース2年の生徒59人が体験談を聞き、スポーツとの多様な関わり方を学んだ。

木村さんは「諦めない心」をテーマに講演。大学時代に中傷を受けたことや、五輪代表入りを逃し続けた悔しさを乗り越え

八戸

参加したバスケットボール部の高橋史江(しや)さんは「フェンシングは体格が違っても同じ道具、同じ舞台で戦う競技性が面白い。嫌なことがあっても自分の自然体でいることが大切だと感じた」と話した。

スポーツ庁などが昨年から行うアスリート全国学校派遣プロジェクト「アスリート」の一環。同校で行われるのは昨年に続き2回目。(中村篤希)